

OK-10

Fujitsu Experience Day Osaka 2026

FUJITSU

AI・コンポーザブルで 進化し続けるGLOVIA

富士通株式会社
ソリューションアーキテクト事業本部

2026年9月25日

本資料には企画中・開発中の内容が含まれています。
記載内容は将来予告なく変更される場合があります。

© 2026 Fujitsu Limited

それでも業務が変わらない理由がある

現場のリアル

手作業に依存した業務

経費精算やチェック業務など
人手と時間に依存している

部門/データが分断された業務

データや業務がつながらず、
全体の状況が見えない

判断が引き継がれない業務

データは引き継いでも、
判断の根拠や意図は伝わらない

AIを使っても業務が変わらない理由

業務の中に 組み込まれていない



AIが“分析ツール”として
業務の外で使われている

ルールや判断基準が AIに入っていない



業務ルールや承認は
結局人が判断している

データや業務が つながっていない



横断での判断や
全体最適ができない

個人・部門単位の 活用にとどまる



AI活用の取り組みが
組織・業務全体に広がらない

結果として・・・ 気づきはあるが、判断も行動も人に戻る（業務は変わらない）

この課題に対し、GLOVIA×AIは業務の進み方そのものを変えます

GLOVIA×AI がもたらす提供価値

業務は「正しく進み、最適に判断され、先回りに対応される」ことで成り立つ
GLOVIAは、この一連の流れをAIでつなぎ続けます

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
(入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保)

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りに対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

エージェント実行

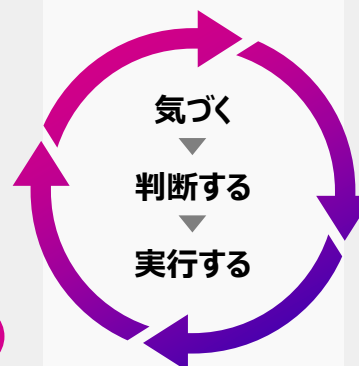
次の一手を止めない“判断”と“実行”のAI

ChatBI（判断するAI）



- データを横断して可視化・分析
- 論点やリスクを明確化
- 示唆を提示

気づき・洞察を得て、意思決定を支援



AgenticERP（実行するAI）



- 業務ルールに基づき判断
- 必要な処理を自動実行
- 業務フローを自律的に進行

判断を業務に反映し、実行まで自動化

GLOVIA×AIの提供価値を踏まえて、それぞれに紐づくデモシナリオを整備中

デモテーマ No.1

横断チェック業務の自動化

- 1 正確性の担保
- 2 自社ルールでの妥当性判断
- 3 監査・リスクの先回り

デモテーマ No.2

資金繰りリスクの可視化

- 1 正確性の担保
- 2 自社ルールでの妥当性判断
- 3 監査・リスクの先回り

デモテーマ No.3

着地点分析に伴うスピーディな経営判断

- 4 意思決定の高度化

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
(入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保)

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りに対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

活用データ



業務システム

売上・仕入・経費情報など



会計システム

仕訳情報

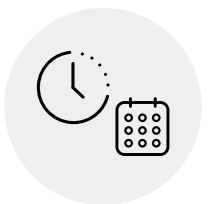


個社規定

異常検知ルール（社内規定、承認ルールなど）

①自動連携・チェック（Agentic ERP）

定期的な異常検知でリスクを早期把握



データ自動連携



異常値検知



リスト作成



自動通知



②深掘り・分析（ChatBI）

自然言語で深掘り・論点整理



傾向把握



偏り分析



論点整理



業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
(入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確かさを担保)

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りで対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

活用データ



販売システム

受注・仕入/支払予定



会計システム

入出金/回収情報



外部データ

与信・評点・口座情報

①状況把握・判断材料の整理 (ChatBI)

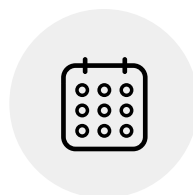
横断データで資金の見通しを見える化



資金残高の推移



資金不足リスク

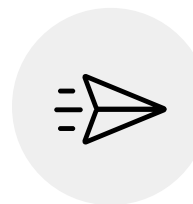


遅延傾向の把握

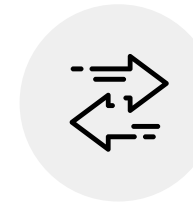
判断材料を
もとに
アクションへ

②実行 (Agentic ERP)

通知・判断・資金アクションまで自律実行



通知・共有



資金移動



回収対応

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
(入カミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保)

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りに対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

活用データ



販売システム

受注残・出荷予定など



会計システム

予算・P/L実績



外部データ

為替レートなど

月中で着地を予測・分析し、打ち手を提案 (ChatBI)

現状把握

今月の着地見込みと未達リスクを即座に確認



現時点の営業利益着地は
予算に対してどうなる？

事業別・セグメント別に、
着地見込みを比較して

原因特定・予測

未達の主因と、先行きの変化要因を深掘り



営業利益未達の主因は何？

為替が営業利益に与える
影響を教えて

改善提案

優先すべき打ち手提示、意思決定へつなげる



改善効果が最も大きい施策は？

売上・粗利・販管費
どこから改善すべき？

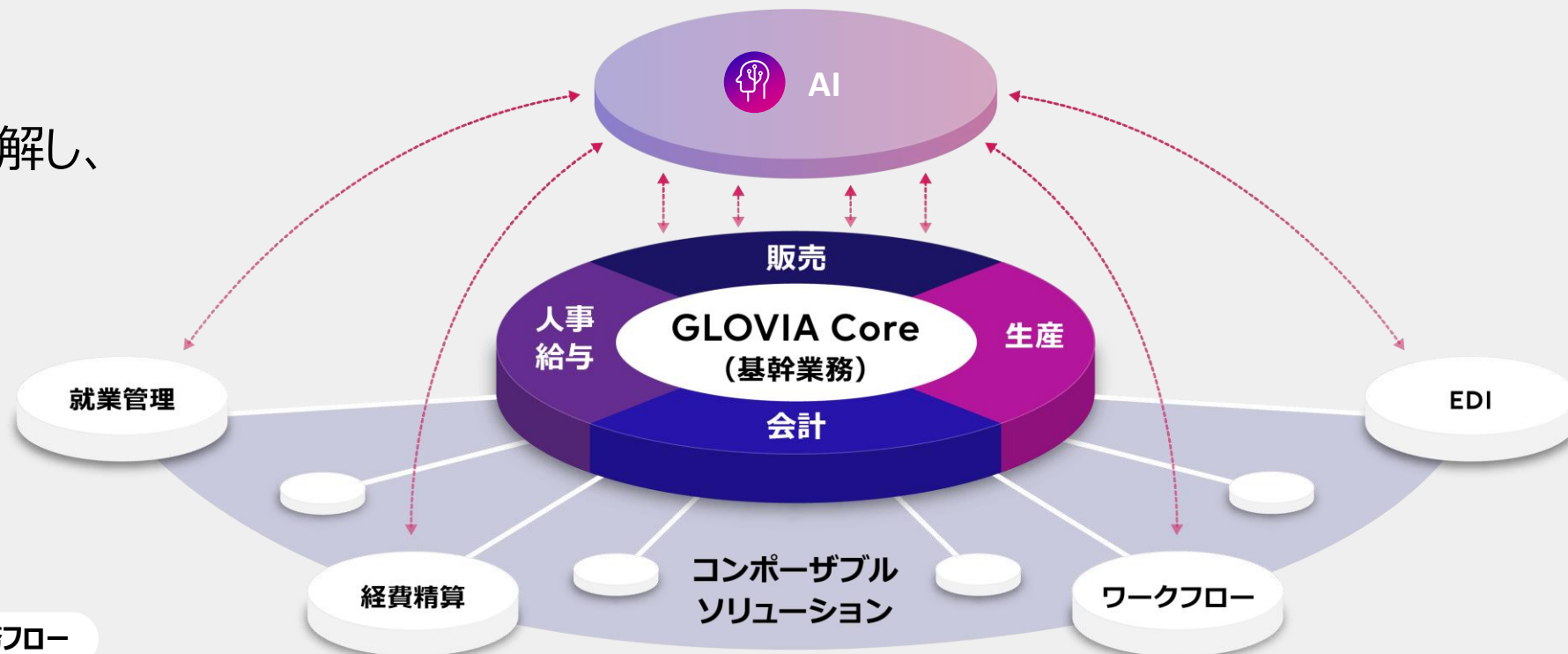
“次の一手”が止まらない、GLOVIAの構造

GLOVIA Oneは、「Core（基幹）× コンポーザブル（エコシステム）× AI」

- Coreで基幹業務を支え、コンポーザブルで業務を柔軟に拡張。そしてAIが判断から実行までをつなぐ。
- 「次の一手」までつながる理由は、“広げ続けられる仕組み”と“業務を理解したAI”にあります。

GLOVIA One

AIが業務ルールとデータを理解し、
可視化・判断・実行



業務ルールを理解したAI

GLOVIA知識

個社ごとの知識

業務フロー

“次の一手”を支える力 = GLOVIAの共進化

“次の一手”が止まらない理由は、業務を理解するAIと、進化し続ける仕組みにあります

1 業務を理解したAI 富士通の知見がAIを強くする

GLOVIAの業務知見

会社規定/判断ロジック

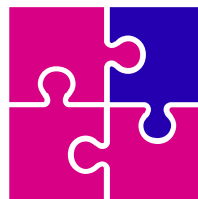


- 日本企業の業務・商習慣に長年向き合ってきた知見をAIに組み込み
- 各社固有の運用規定や業務フローも理解したAI

2 変化に合わせて広がる仕組み コンポーザブルで柔軟に拡張



業務機能



AI部品(MCP)

- コンポーザブルソリューションにより、業務機能を柔軟に組み合わせ
- 変化に合わせて広がっていける仕組み（MCP）

3 自社で進化し続けられる プラットフォーム 共に作り、育て、進化する



- あらかじめ用意された業務・連携部品をベースに自社専用のAIを簡単に構築
- 導入して終わりではなく、使い続けるほど進化



理解する



広がる



進化する

現場の変化と経営の判断が循環し、成長に向けた進化が続く状態 = GLOVIAで実現する、ビジネスの共進化

だから、GLOVIAは“次の一手”を止めない

「自分たちの業務に合わせられる」

GLOVIA Oneの“共進化プラットフォーム”

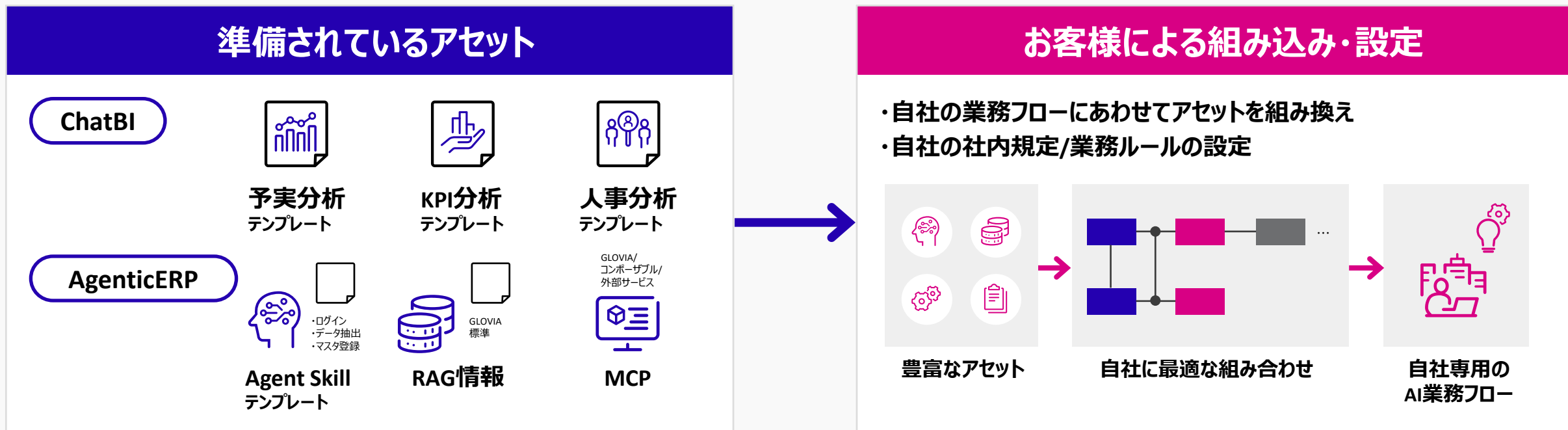
お客様ごとに、業務は異なります。だから、自分たちの業務にあったもの簡単に使える仕組みが必要。
GLOVIA One はお客様固有の業務プロセスに合わせて、「簡単」に「最適化」できる仕組みです。



すぐに使えるアセットで、業務にAIを広げていける

すべてをゼロから作る必要はありません。

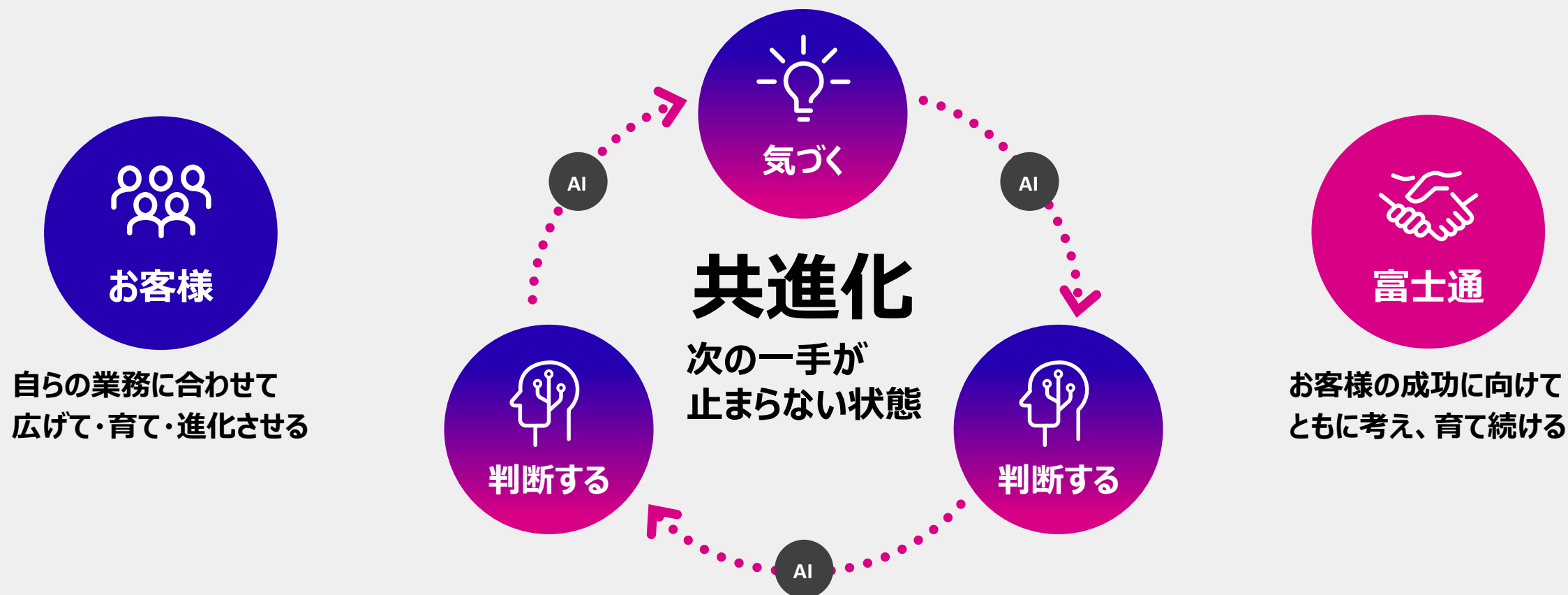
GLOVIAでは、業務で使える部品やテンプレートがあらかじめ用意されています。



AI活用を個別最適で終わらせない。業務全体にAIを浸透させ、進化し続ける

それが、GLOVIAの共進化

GLOVIA One プラットフォームは、業務とAIを一体化し、
「気づく → 判断する → 実行する」を業務の中で循環させ続けることで、進化し続ける業務を実現します。



本資料をご覧いただきありがとうございました。

ご不明な点や詳細なご相談、ご紹介した内容に関するお問い合わせは、
以下までお気軽にご連絡ください。

FJ-GLOVIAOne商談問合せ <fj-glovviaone_request@dl.jp.fujitsu.com>

Thank You

